

大日本印刷株式会社
オプトマテリアル事業部 オプトマテリアル研究所
エキスパート

OG
INTERVIEW
第12回

関根 啓子さん

Sekine Keiko



梅雨の晴れ間となった6月の昼下がり、大日本印刷株式会社へ関根さんを訪ねました。柏市にある研究所に勤務する関根さんですが、お勤め先のご厚意により、忙しいスケジュールの合い間を縫って本社のある新宿区市谷にてお話を伺いました。

大学では光学・ホログラムに魅せられて、研究室の仲間とともに毎日研究に熱中。ものづくりが好きだった関根さんは、就職後もチームで研究し製品化を目指す現在のお仕事に生き生きと取り組んでいらっしゃいます。子育て支援に理解のある同社で、2人のお子さんの育児を経験し、働きやすい環境を築いてくれた先輩方への感謝を忘れずに、今後の世代へ素晴らしい環境を引き継ぐためにも、熱意と喜びをもって研究にあたる関根さんです。以下は学生記者によるインタビューです。

message

「女性らしく、時に逞しく」^{たくま}

一女子校で培ったリーダーシップ

中学から大学まで、何でも自分たちでやらなければならない、という本学で学んだ学校生活では、いい意味で逞しくなりました。毎年行事の実行委員を務め、力仕事を任された経験もあります。率先して人前に立つ度胸や、集団を動かすコミュニケーションなどを身につけることができました。こうした女子校ならではの良さは、結婚・出産を経てもなお活躍されている方が多い本学の特徴だと思います。今でも同窓会を開くと、仕事を続けている友人がとても多いです。身近な友人の活躍が、また自分の原動力になっています。

一大学院進学より、選んだのは企業への就職

大学では理学部数物科学科に進学しました。研究者を目指したきっかけは、大学3年生のときの目白祭で、ホログラムをテーマに、仲間と研究発表を行った経験です。先生の指導の下で仲間と実験を続けるうちに、「チームプレーでのものづくりのおもしろさ」を知りました。企業への就職を選んだ理由は、まさに「早く製品化を目指したものづくりに携わりたい」と思ったからです。

学部卒の研究職として入社した今の会社では、現在、液晶ディスプレイに用いるフィルムの開発を担当しています。やりがい、やはり研究チームの存在があってこそ。得意先のニーズに応えることができた際には、チームの皆で喜びを

分かち合います。実験の進め方や、チームを組んで目標を達成するまでの思考のプロセスは、学生時代に打ち込んだ研究と通じるものがありますね。

一まだ少ない女性の理系研究職、次の世代へ

仕事を楽しみたいとき？ それは毎日、ですね(笑)。一回も仕事をやめたいと思ったことはないです。これまで仕事を続けることができたのは、私の前の世代の方が、働く女性の道を作ってくださったからだだと思います。それでも、管理職の女性はまだまだ少ないのが現状です。だからこそ、「自身の働き方が、次の世代の女性に対する周囲の理解に繋がる」と常に意識しています。

大切にしていることは、「人との繋がり」です。職場でも、育児でも、周りの助けを借りる機会は必ずあります。日頃から、いかに「自分から周りに理解してもらえるよう努力できるか」が要だと思います。それに「女性が間に入ることで、場の雰囲気が和むこと」は必ずありますから。自分にできること、女性だからできることを大切にしたいです。学生の皆さんにも「人との繋がり」はぜひ大切にしてほしいですね。

…インタビューを終えて～学生記者～…

「毎日が楽しい」、そう語る姿には、物柔らかな雰囲気とともに、凛とした力強さを感じます。家庭にも仕事にも前向きに取り組む関根さんのお話を伺い、社会に出ることへの期待が膨らみました。

(取材・文・学生記者 文学部英文学科 4年 飛田 紗里)



研究チームのメンバーと

プロフィール

附属中学校、高等学校を経て、1997(平成9)年3月、日本女子大学理学部数物科学科卒業。同年、大日本印刷株式会社入社。以来、オプトマテリアル事業部オプトマテリアル研究所にて研究に打ち込む。

関連項目

大日本印刷株式会社ホームページ：<http://www.dnp.co.jp/>

今月の表紙
Photography

成瀬記念館分館 旧成瀬仁蔵住宅
目白キャンパス

創立時から現存する唯一の建物である旧成瀬仁蔵住宅は、文京区指定有形文化財に指定されています。創立者・成瀬仁蔵が1901(明治34)年の開校時から1919(大正8)年に没するまで暮らしました。建物は木立に包まれて、今も静かにキャンパスを見守り続けています。



夏至の陽光を浴びる紫陽花

「学園ニュース」へのご意見・感想などがおありでしたら、右記までお寄せください。

総務部広報渉外課
東京都文京区目白台2-8-1 〒112-8681
Tel. 03-5981-3176
Fax. 03-5981-3164
E-mail: postmaster@atlas.jwu.ac.jp
<http://www.jwu.ac.jp/>



日本女子大学循環再生紙
本書は学内の使用済み文書を回収・再生した「日本女子大学循環再生紙」を使用しています。



学校法人

日本女子大学